

# オープンサイエンスによるパラダイムシフトは

## 我々に何をもたらすか

甲斐 尚人 (Naoto Kai)

大阪大学 D3 センター

オープンサイエンスとは、透明性・アクセス性・再利用性を重視し、研究データを社会全体に開かれた資産とすることを目指している。このオープンサイエンスによるパラダイムシフトが、我々研究者に何をもたらすのか。研究者にとって厄介とも思えるこの動きについて、最近の世界的な動向やその背景、日本における進展を共有し、議論を深めたい。

現在、欧州を中心にオープンサイエンスの推進が積極的に進められている一方で、日本でも大学などの研究機関に対して研究データポリシーの策定が義務付けられ、国内の多くの公的資金配分機関が研究データの公開やデータ管理計画 (DMP) の策定を求めている。また、国立情報学研究所を中心に、GakuNin RDM などのデータ基盤が整備され、研究者や機関の負担軽減が図られており、これらの最新動向についても共有したい。

こうした大きな流れの中で、オープンサイエンスを実践するには、FAIR 原則 (Findable, Accessible, Interoperable, Reusable) に基づくデータ管理がデータの価値を最大化し、学際的な協力や研究の信頼性向上を促進するものと考えられている。しかし、同時に研究データの特性に応じた「オープン・アンド・クローズ戦略」を使い分ける慎重な対応が求められる。今回のテーマを通じ、こうしたデータの側面からオープンサイエンスに関する議論を深めていきたい。

### 【参考文献】

国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会. 我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について ~サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開け~ (「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会」報告書). 内閣府. [https://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/150330\\_openscience\\_1.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/150330_openscience_1.pdf)

オープンサイエンス政策動向. 国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター. <https://rcos.nii.ac.jp/document/policy/>

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針 (統合イノベーション戦略推進会議 令和6年2月16日決定)の実施にあたっての具体的方策. 関係府省申合せ. [https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6\\_0221/hosaku.pdf](https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf)

The FAIR Data Principles (FAIR 原則). FORCE11. <https://force11.org/info/the-fair-data-principles/>